

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	2773414
施設名（園名等）	淡島幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

野菜の栽培

<テーマの設定理由>

自園の恵まれた土地を活かし個人の畑を設け、一人一人が苗を植え主体的に世話・観察記録をすることにより興味関心が深まると考えたため

2. 活動スケジュール

- ・月に3～4回
- ・学期毎に苗を栽培
- ・個人の畑を整地し、苗や種を植える
- ・個人で世話をする
- ・成長を観察し記録をつける
- ・収穫・味見

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・活動のために準備した素材や道具、環境の設定
- ・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

・準備物

土、肥料、じょうろ、じょうろ、ネームプレート、野菜の苗、野菜の種、育苗ポット、観察記録用紙、カメラ

- ・活動内容
- ・学期ごとに植える野菜を複数の選択肢の中から話し合いで決める。
- ・水やり、雑草の除去等もすべて子どもの自主性に任せながら保育者も声かけをして促しながら世話をする。
- ・観察記録をつける
- ・収穫
- ・活動の様子

子ども一人ひとりが自分の畑を持ち、同じ野菜を育てる中で、日々の関わり方の違いが生育に表れていた。こまめに水やり、観察を行う子は、「昨日より大きくなって」「葉っぱが増えてるよ」と変化に気づき保育者にうれしそうに伝える姿が見られた。また、「なんでこっちは元気がないのかな」「お水あげたら元気になるかな」と考える姿や、「こっちは日が当たるよ」「一緒に見てみよう」と友達同士で声を掛け合う様子が見られた。友達の気づきに触れることで、自分から畑に向かう姿も見られた。教諭は、「どこが変わったかな?」「昨日と比べてどうかな?」といった声かけを行い、子どもたちの気づきに寄り添う関わりを行った。観察記録をつけるときには「葉が2枚に増えた」「変わらない」「花のつぼみがある」など小さな変化を自分の言葉や絵で表す姿が見られた。

4. 振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき

日々の経験を通して子どもたちは野菜の生長を身近に感じながら、気づいたことを言葉にしたり、友達と共有したりする姿が見られた。今後も一人ひとりの関わりや気づきを大切にしていく。

